

事例4

事業名 NPOレベルアップ講座事業

課題

市民活動団体の活動を支援し、よりよい協働のパートナーとして活躍してほしい。

効果

市民活動団体が抱えている課題を解決するための側面的支援を行うことで、市民活動が活発になり、公共の担い手を増やすことができます。

協働のパートナー

☆経費の形態☆ 委託

社会福祉法人大阪ボランティア協会

NPOを育成支援する目的で活動する中間支援組織。市民活動団体やボランティアの活動を支援しコーディネートを行っています。

市民局市民部地域活動課（市民活動）

大阪市の公共を担う重要な担い手として市民活動団体の活動を促進するという目的を持っています。

事業の概要

NPO法人の設立を考えているボランティア団体や、現在NPO法人運営に課題を抱えている法人等を対象としたスキルアップのための講座を実施することで、多くの市民活動団体が抱えている課題を解決し、安定的な活動資金確保や継続した組織運営を行っていただけるよう側面的支援を行い、市民活動団体を促進することを目的とした事業です。

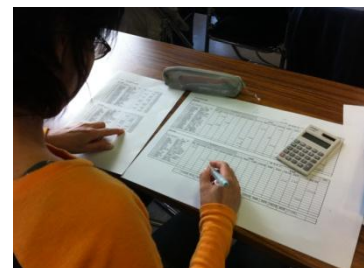
事業対象

NPO・ボランティアなどの市民活動団体（30名×10講座＝約300名）

事業内容

NPO・ボランティア活動実施者向けの
スキルアップ講座の実施

- ① スタートアップ講座～資金拡充ノウハウセミナー
- ② NPO法人の会計担当者が知っておくことセミナー
- ③ ボランティアメンバーの心に火をつける
ボランティアマネジメントのコツ
- ④ 企画・助成金・プレゼンテーションの極意
- ⑤ 認定NPO法人セミナー
- ⑥ 納得の話し合いを作る！
ファシリテーションの視点でNPOを運営する
- ⑦ NPO法人のための税務セミナー
- ⑧ 協働を考えるNPOのための企業を知るセミナー
- ⑨ 協働を考えるNPOのための行政を知るセミナー
- ⑩ 市民活動に利用する「SNS」入門講座！



担当者向けに実践的な会計講座を開催。



新しいメディア(SNS)をテーマに開催。

協働のパートナーとの出会い

☆大阪市から！

大阪市民政局が、市民活動団体のレベルアップを目指す講座の実施をテーマに、事業企画案を募集し、応募のあった団体から、選定会議にて選定しました。

プロセス

① 選定会議の設置、募集要項の作成	★選定会議は、よりよい企画案を選定するために必要な知識等を持った方で構成しました。	P
② 事業企画案募集	★広報誌やホームページ、チラシ等で募集しました。	
③ 事業の選定	★選定基準をできるかぎり明確にした上で、第1次審査は書類審査、第2次審査はプレゼンテーション審査を行いました。	
④ 企画の協議・調整	♡ ◎より効果的な講座になるよう両者で協議・調整しました。	D
⑤ 受講者募集	◎協働相手の特性を生かして、対象者へ情報が届くように募集をしました。	
⑥ 講座実施	◎アンケートを取り、随時振り返りを行いました。	C A
⑦ 振り返り・報告会	♡ ◎選定会議の委員も招いて報告会を行い、目標が達成できたかを振り返り、改善点を検討しました。	

※役割分担：☆協働のパートナー ★大阪市 ◎両者

♡ は、協働のポイントです。

協働で実施する理由！

・協働のパートナーである（社福）大阪ボランティア協会に当事性があることから、市民活動団体が抱える課題に詳しく、どのようにして乗り越えてきたかのスキルを持っており、適切な事業を実施することができました。

ここがよかった！ ～実践者の声～



3年目の事業実施となる今年は10の講座を開催。これまで定員前後の集客であったが今年は全講座定員超を目標に、インパクトのある広報チラシ、市内全NPOへのDM、大阪市内区社協等に広報協力を依頼。多様なルートから広報を行った結果、ほぼすべての講座で定員超の集客につながり、多くのボランティアグループ、NPOにレベルアップ機会を提供することができた。参加者からは、「このような連続講座で、まとめて学べるのはありがたい」など声が聞かれ、全10講座に参加したNPOも見受けられた。（大阪ボランティア協会 担当：影浦弘司）

